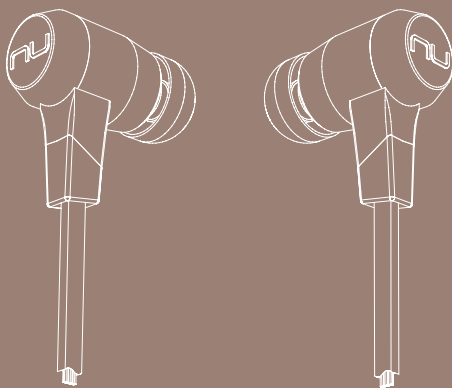




NU FORCE

BE6i

Bluetoothインナーイヤー型ヘッドホン

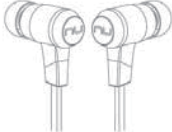
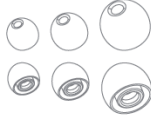









ユーザーマニュアル
承認製品名：APBELI

内容

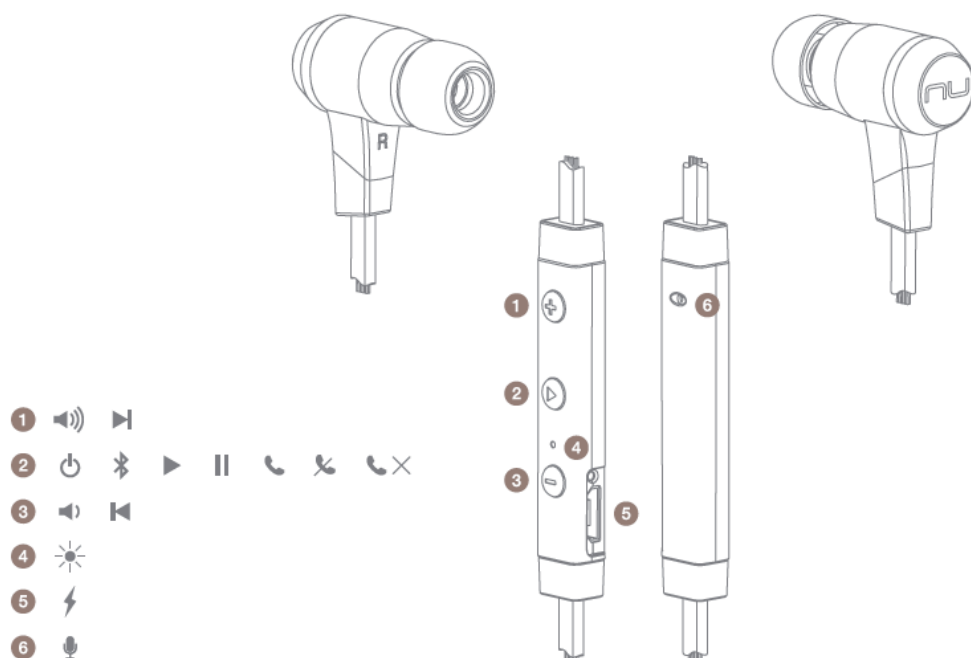
- パッケージ内容
- BE6i イヤフォン
- 基本設定
 - BE6i の充電
 - バッテリーレベルのチェック
 - Bluetooth ペアリング
 - 電源オン／オフ
 - BE6i の装着
 - 通話
 - 音楽再生
 - ノートパソコンとのペアリング
 - Mac とのペアリング
- その他
 - マルチポイント接続
 - 初期設定の復元
 - 音声通知一覧
 - 免責事項
 - FCC 準拠宣言
 - 仕様

パッケージ内容

BE6i イヤフォン(インライン・コントローラーとマイク搭載)	
シリコンチップ(L/M/S サイズ) 2種類のシリコンチップ 合計 12 個のシリコンチップ	
コンプライチップ(L/M サイズ・2 ペア)*	
スタビライザー(1 ペア)	
ケーブル長の調整用ループ	
キャリーケース	
充電用ケーブル(Micro-USB)	
基本ユーザーマニュアル	
安全説明	

*チップの交換または追加注文はこちらから行えます: www.complyfoam.com

BE6i イヤフォン



1. ボリュームアップボタン
2. 電源／機能ボタン
3. ボリュームダウンボタン
4. LED インジケータ
5. 充電ポート
6. マイク

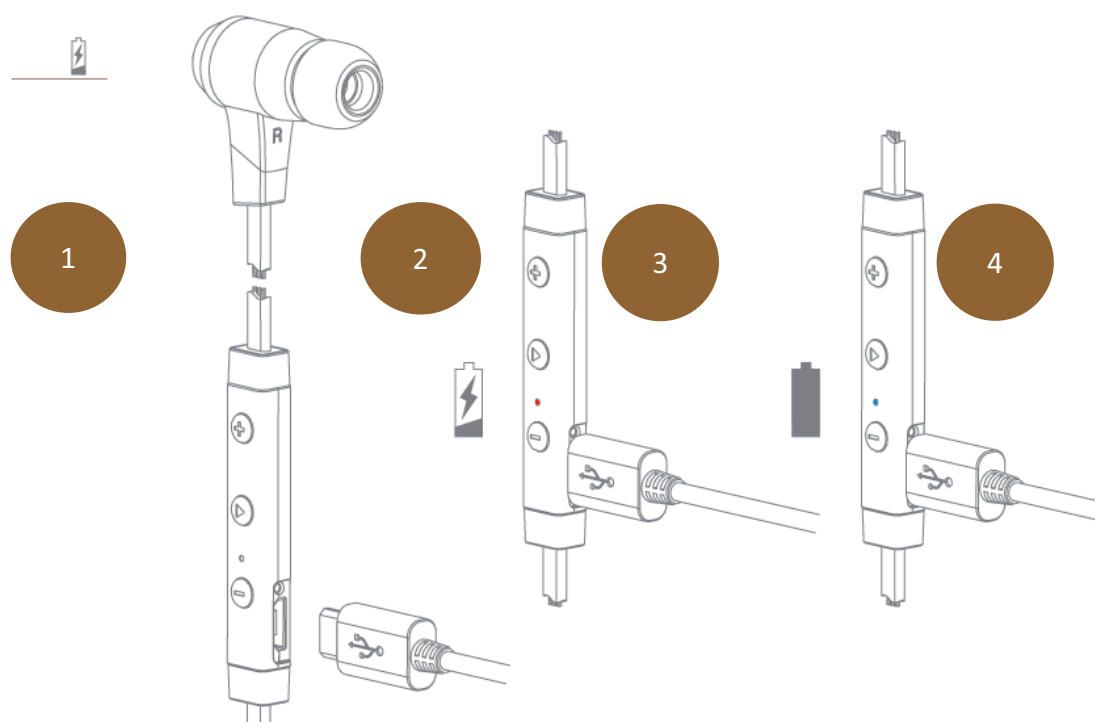
基本設定

BE6i の充電

BE6i インナーイヤー型ヘッドフォンは一部充電された状態で出荷されますが、初回使用前には BE6i をフル充電することを推奨いたします。

1. コントローラー上の充電ポートカバーを開きます。
2. 充電ケーブルを充電ポートに接続し、もう一方をパソコンまたは専用の USB 充電器に接続します。
3. 充電中は LED インジケータが赤色に点灯します。
4. LED インジケータは充電完了後に青色に点灯します。

注意： BE6i のフル充電は最大 2.5 時間かかります。



バッテリーレベルのチェック

LED インジケータを通じて、BE6i のバッテリーレベルをチェックできます
*

バッテリーレベルのチェック方法：

1. 電源／機能ボタン、ボリュームアップ、ボリュームダウンボタンを同時に押します。
2. LED インジケータは赤色と青色に同時点滅します。バッテリーレベルに応じて、以下の表に記載された要領で点滅回数が増減します。

点滅回数とバッテリーレベルの相関

点滅回数	音声通知(有効の場合)
2	低バッテリーレベル
3	50%充電済
5	バッテリーフル充電

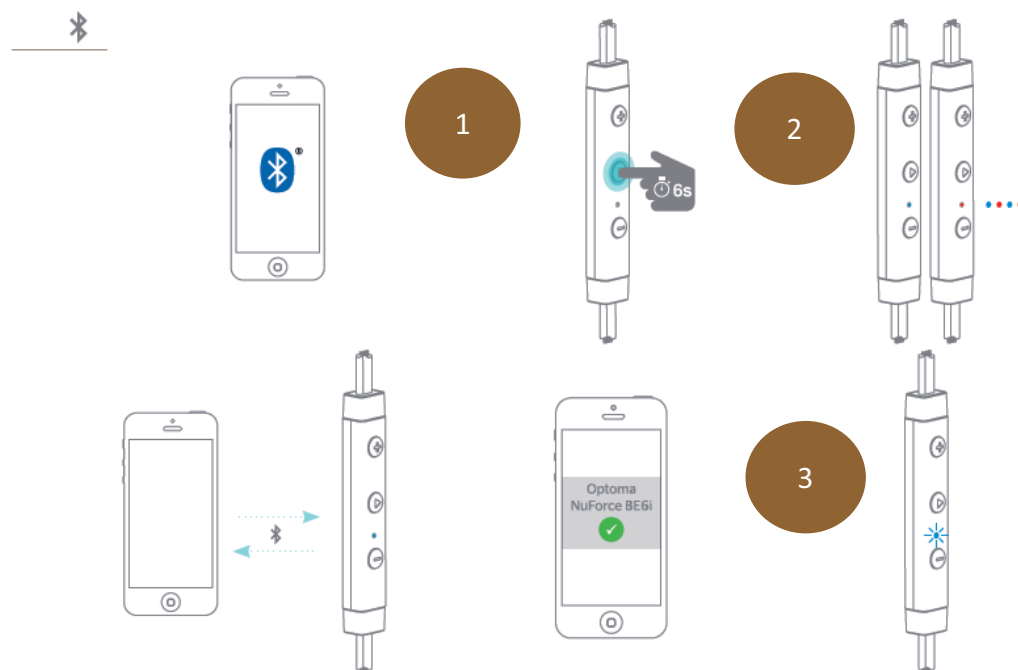
注意： バッテリーレベルが非常に低く、残り時間が 15 分間未満と予測される場合、ビープ音または「Battery Low (低バッテリーレベル)」の音声通知が 2 分毎に BE6i から発せられます。

追加情報：

1. 音声通知が無効の場合、ビープ音(短い二重音)が 2 分毎に発せられます。
2. iOS デバイスや、一部の Android デバイスでは、バッテリー状態がデバイス画面上に表示されます。

*一部の Android デバイスや全ての Windows デバイスでは、音楽再生、通話、ペアリングモードの最中に BE6i のバッテリーレベルをチェックすることができません。

Bluetooth ペアリング



初めて BE6i を使用する場合

BE6i とソースデバイスのペアリング

1. LED インジケータが青／赤に点滅を開始するまで、BE6i の電源／機能ボタンを約 6 秒間押し続けます。BE6i がペアリングモードに入ります。

2. ソースデバイスにて Bluetooth®を有効にした後、「Optoma NuForce BE6i」がデバイス一覧に表示されるのを待ち、選択します。

注意: ソースデバイスでBluetooth を有効にする方法につきましては、デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。

3. ペアリングが無事行われると、LED インジケータは青色に点滅し、「Primary device connected (プライマリデバイスが接続されました)」(音声通知が有効になっている場合)が BE6i から発せられます。音声通知が無効の場合は、ビーブ音が発せられます。

以下の点に注意してください。

A. 「ペアリング」モードに入る際は、必ず電源をオフにしておいてください。

さもなければ、電源がオンになっている状態で電源／機能ボタ

ンを3秒間以上押し続けると、BE6iの電源がオフになります。

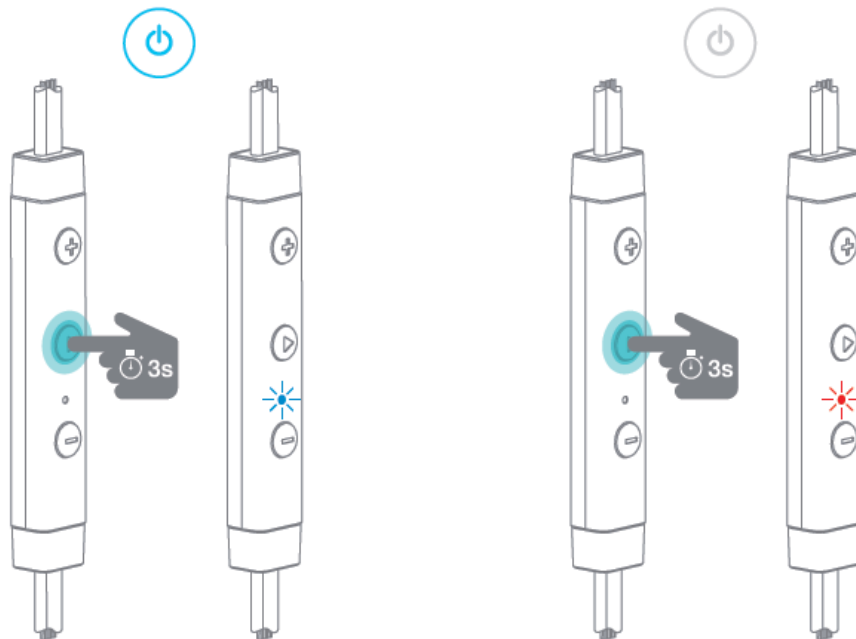
B. ペ어링モードで何も動作がない場合、BE6iは3分後に自動的に電源オフとなります。

C. BE6iは最大8台までのデバイスのペ어링情報を保存できません。

別のデバイスをBE6iに接続する場合、BE6iが同時に他のデバイスに接続されていないことを確認した上で、上記の1から3のステップを繰り返します。

BE6iが既に8台分のペ어링情報を保存した状態で9台目のペ어링を行うと、最初のデバイスのペ어링情報が消去されます。

電源オン/オフ



BE6iの電源をオンにするには、LEDインジケータが青色に点滅を開始するまで電源/機能ボタンを約3秒間押し続け、「Power on(電源オン)」（音声通知が有効の場合）またはブープ音（音声通知が無効の場合）が発せられるまで待ちます。

注意:

BE6iがBluetooth対応デバイスにペ어링済である場合、デバイスの電源を再投入するとBE6iは自動的にデバイスに接続されます。詳細情報は「Bluetoothペ어링」の章を参照してください。

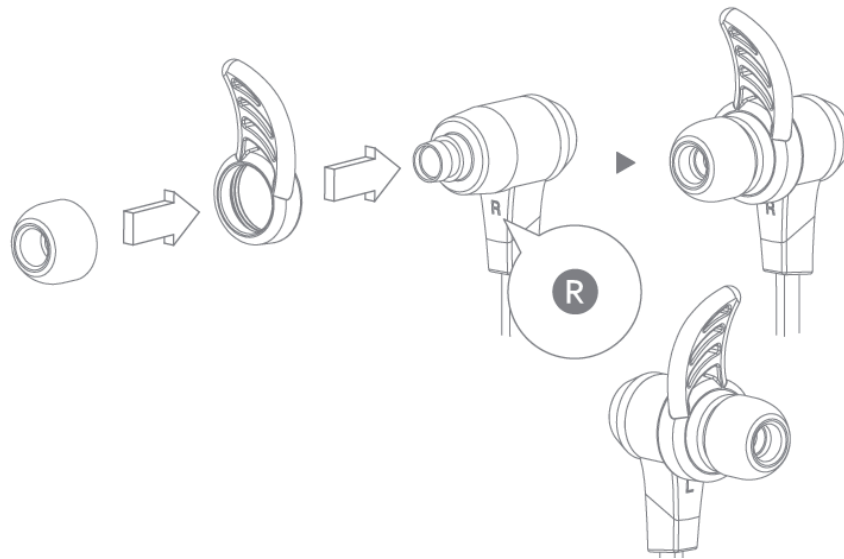
複数デバイスのペ어링情報を保存しており、それらのうちBluetooth機能が現在有効なデバイスが複数台存在する場合、BE6iは直前にペ어링していたデバイスと自動的に接続し、マルチポイント接続機能

も有効にします。

詳細情報は「マルチポイント接続」の章を参照してください。

BE6i の電源をオフにするには、LED インジケータが赤色に点灯するまで電源／機能ボタンを約 3 秒間押し続け、「Power off(電源オフ)」（音声通知が有効の場合）またはビープ音（音声通知が無効の場合）が発せられるまで待ちます。

BE6i の装着



BE6i を快適に装着するために、以下の指示に従ってください。

1. BE6i にスタビライザーを取り付けます。
2. 適切なサイズのイヤーチップを選択し、BE6i に取付けます。
3. 快適に装着されるまで、スタビライザーを回転させて BE6i を両方の耳に合わせます。

イヤフォン端末の磁石キャップを使用してイヤフォン同士を結合させ、首の周りに手軽に固定できます。

通話

BE6i が Bluetooth 対応のスマートフォンに接続されている場合は、BE6i インナーイヤー型ヘッドフォンを使用して直接、通話を行えます。

以下の機能を使用して通話を行えます。

通話機能	ステータス	動作内容
着信を受ける	着信	電源/機能ボタンをタップする
着信を拒否する	着信	電源/機能ボタンを2秒間押し続ける
通話を終了する	着信/発信時	電源/機能ボタンをタップする
前回発信した番号をリダイヤルする	スタンバイ/接続済	電源/機能ボタンをダブルタップする
マイクのミュート機能をオン/オフする	着信/発信時	ボリュームアップとボリュームダウンボタンを同時にタップする
ハンドセット/イヤフォンの音声を切り替える	通話中	ボリュームアップおよびボリュームダウンボタンを同時に2秒間押し続ける
ボリュームを調整する		ボリュームアップまたはボリュームダウンボタンをタップする
Siri (iOS)または Google 音声検索 (Android)を有効にする*	スタンバイ/接続済	電源/機能ボタンとボリュームアップボタンを同時にタップする

*ご使用になるデバイスの OS バージョンによっては作動しない場合があります。

使用不能なデバイス: Android: 4.4.2、5.0.2/iPhone: 5C (H28.5 現在)

音楽再生


BE6i のインライン・コントローラーを使用して音楽を聴き、各種の操作が行えます。

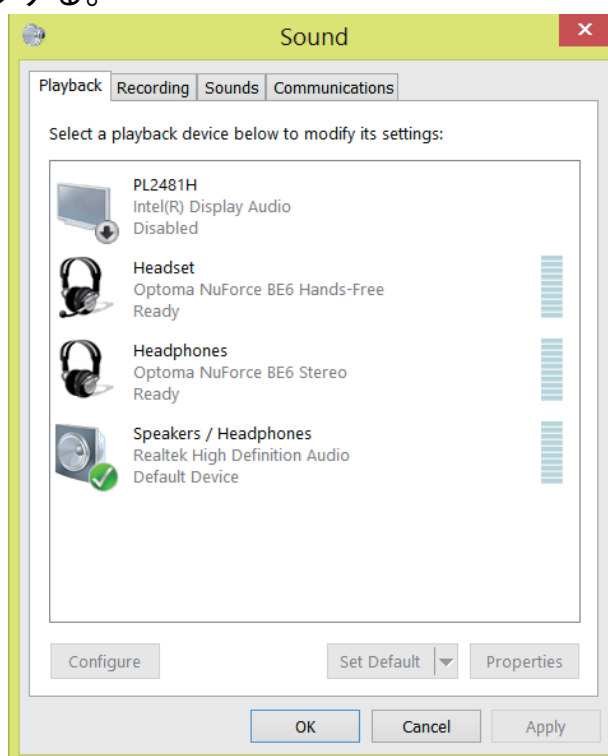
音声機能	動作内容
音楽を再生または一時停止する	電源/機能ボタンをタップする
次の曲へスキップする	ボリュームアップボタンを2秒間押し続ける
前の曲を再生する	ボリュームダウンボタンを2秒間押し続ける
ボリュームを調整する	ボリュームアップまたはボリュームダウンボタンをタップする

*注意点: BE6i をミュートしたり、ミュート状態から復帰させる場合、わずかな遅延時間があります。

ノートパソコンとのペアリング

以下の接続指示は Windows 7、8、8.1、10 に該当します。

1. パソコン／ノートパソコンに電源を入れる。
2. 「Bluetooth Settings (Bluetooth 設定)」を検索する。
3. ノートパソコンの Bluetooth 設定を「オン」にする。
4. BE6i を「ペアリングモード」に切り替える。
5. ノートパソコンが BE6i を検知したら、「Pair (ペアリング)」を左クリックする。
6. 画面の右下隅にあるスピーカーアイコンを右クリックする
7. ドロップダウンメニューから「Playback Device (再生デバイス)」を右クリックする 
8. 「Optoma NuForce BE6i stereo ready」(以下の画像を参照) を選択し、右クリックする。
9. HEADPHONES (ヘッドフォン) をクリックし、「Headphones Optoma NuForce BE6i」をデフォルト・デバイスに設定する
10. OK (確認) をクリックする。



Mac とのペアリング

以下の接続指示は現行、および最近の iOS バージョン全てに適用されます。

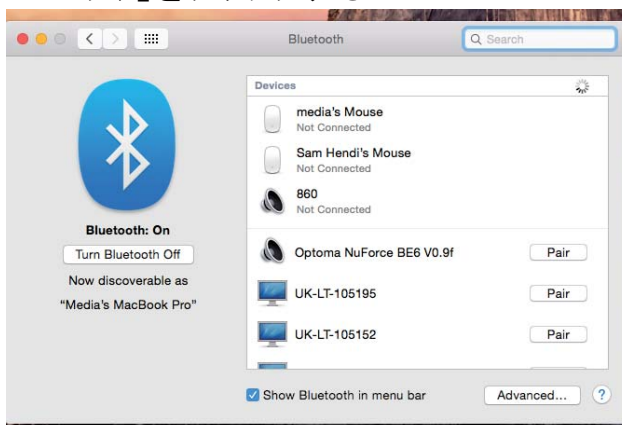
1. Mac の電源を入れる
2. 「System Preferences (システム環境設定)」を開く



3. Bluetooth シンボルをクリックする



4. Optoma NuForce BE6i を「ペアリングモード」に切り替える
5. Mac が Optoma NuForce BE6i を検知したら、「Pair (ペアリング)」をクリックする



6. これで Mac は BE6i を通じて音声再生が行えます

その他

マルチポイント接続

複数デバイスのペアリング情報を保存しており、それらの中に Bluetooth 機能が現在有効なデバイスが複数台存在する場合は、BE6i はマルチポイント接続機能を有効にします。

マルチポイント接続を通じて、BE6i は同時に 2 台のデバイスと接続を行え、音声信号はそのうちの 1 台からのみ再生できます。

マルチポイント接続は次の要領で機能します。

- BE6i は最後にペアリングしたデバイス(「プライマリデバイス」)と自動的に接続します。
- 2 台目のデバイス(「セカンダリデバイス」)とは、デバイスの OS を通じて手動で接続する必要があります。
- BE6i はプライマリデバイスからの音声信号を優先的に再生します。
- BE6i のラインコントローラーを用いてプライマリデバイスを操作できます。
- プライマリデバイスがアイドル状態の場合、BE6i はセカンダリデバイスの音声信号を受信できます。
- セカンダリデバイスはデバイスの OS から直接操作しなければなりません。
- 両デバイスから同時に音声信号を受け取ることはできません。

初期設定の復元

BE6i を工場出荷状態に復元すると、保存されたペアリングデバイス情報は消去されます。

初期設定の復元は次の要領で行います。

- 1 BE6i とデバイスが接続されていれば、接続を外します。
- 2 BE6i をペアリングモードにします。
- 3 電源／機能ボタン、ボリュームアップ、ボリュームダウンボタンを同時に 2 秒間押し続け、LED インジケータが赤色に 5 回点滅して BE6i が短いビープ音を 5 回発するまで待ちます。

初期設定の復元後に全てのペアリング情報が消去されるため、BE6i は電源投入後に直接ペアリングモードに移行します。

音声通知一覧

BE6i には英語の音声通知が搭載されています

- 「Power On」(電源オン)
- 「Power Off」(電源オフ)
- 「Full Battery」(バッテリーフル充電)
- 「Battery at 50%」(50%充電済)
- 「Battery low」(低バッテリーレベル)
- 「Primary device connected」(プライマリデバイス接続済)
- 「Secondary device connected」(セカンダリデバイス接続済)
- 「Device disconnected」(デバイス接続解除済)
- 「Mute On」(ミュートオン)
- 「Mute Off」(ミュートオフ)
- 「Pairing Mode Activated」(ペアリングモード有効済)
- 「Redial Last Number」(前回の番号をリダイヤル)
- 「Transfer Audio」(音声の転送)
- 「Voice Dial」(音声ダイヤル)
- 「Voice Prompts Enabled」(音声通知有効済)

音声機能	動作内容
音声通知を有効にする	電源／機能ボタンとボリュームアップボタンを同時に 2 秒間押し続ける
音声通知を無効にする	電源／機能ボタンとボリュームダウンボタンを同時に 2 秒間押し続ける

免責事項

BE6i には最新技術が搭載されていますが、性能はデバイスによって異なる可能性があります。

FCC 適合宣言

本装置はテストの結果、FCC規制パート15によるクラスBデジタル製品の制限に準拠していることが証明されています。これらの規制は、住宅への設置における有害な干渉に対して、適切な保護を提供することを目的としています。

本装置は電波エネルギーを発生、使用しており、放射することがあります。ユーザーマニュアルに従って設置、使用しない場合は無線装置に有害な干渉を与える可能性もあります。ただし、特定の使用状況で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本装置により有害な電波障害またはテレビの受信障害が起きた場合(装置の電源をオン、オフに切り替えると判断できる場合があります)、以下の方法を試して妨害を避けてください。

- ・ 受信アンテナの向きや置き場所を変更する。
- ・ 本装置と受信機の距離をさらに離す。
- ・ 本装置と受信機の電源系列を別の回路に接続する。
- ・ 取扱店または信頼できるラジオ／テレビ技術者に問い合わせる。

FCC警告: 適合性の維持を確保するため、準拠責任者による明示的な承認を受けずにこのデバイスを改変または改造した場合、使用者はこのデバイスの操作を行う権限を失う場合があります。(例:コンピューターや周辺機器に接続する際は、接続用シールドケーブルのみを使用してください)。

FCC被曝宣言

この装置は、制御されていない環境に対して規定されたFCC被曝範囲に準拠しています。この装置は、放射体と体との間に最低で0.5cm(0.2インチ)の距離を設けて設置し運用する必要があります。

本転送装置は他のアンテナや転送装置と一緒に設置したり、操作しないでください。

本転送装置のアンテナはすべての人との間に0.5cm(0.2インチ)の距離を置く必要があります。また、他のアンテナや転送装置と一緒に設置したり、操作しないでください。

本装置はFCC規定パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます:

(1) 電波障害を起こさないこと、および (2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

仕様

接続方法	Bluetooth 2.4Ghz	
Bluetooth 方式	V4.1	
Bluetooth プロファイル	HSP 1.2、HFP 1.6、A2DP 1.2、AVRCP 1.4、aptX、AAC	
コーデック	SBC、aptX、AAC	
ケーブル長	550	mm
ドライバー方式	ダイナミック	
ドライバー径	10	mm
インピーダンス	20	Ω
バッテリー駆動時間(推定)	最大 8 時間	
バッテリー種類	リチウムイオンバッテリー、円筒型、通常 3.7V/120mAh	
マイク感度	-42dB	
周波数応答	20Hz - 20kHz	
感度	95dB +/-3dB @1KHz	
消費電力	A2DP モードで 15mA、スピーカー出力: 75dB SPL	
範囲	最大 30m	
重量	19	グラム

Qualcomm[®]
aptX[™]





www.optoma.com